

森六
MORIROKU

**2021年3期 第3四半期
決算補足資料**

東証1部 4249

森六ホールディングス株式会社

2021年2月12日

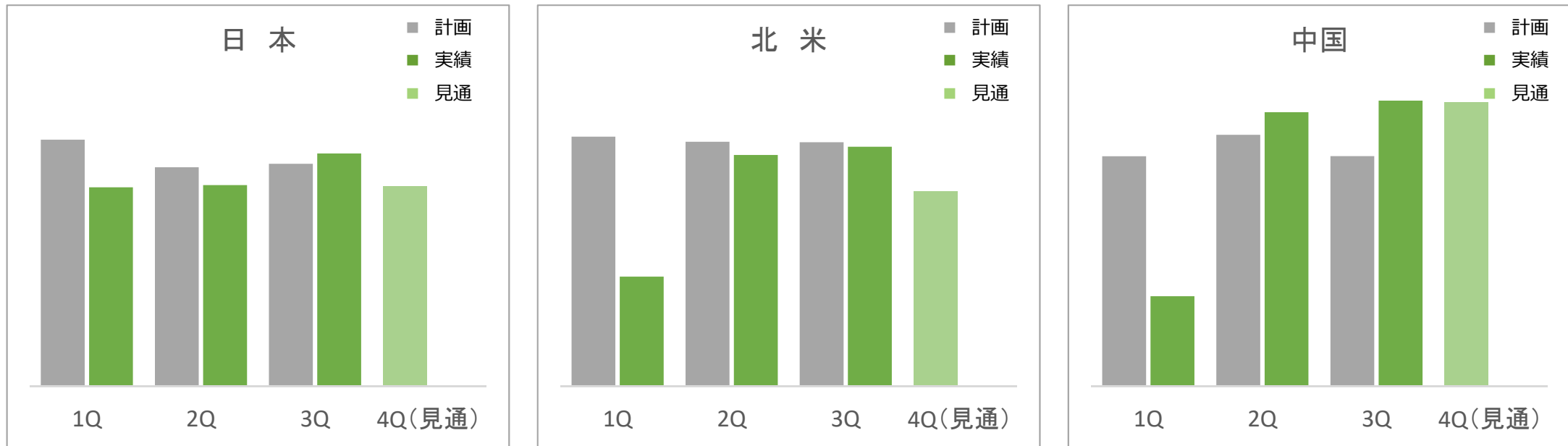
上期の減収影響はあるも、グローバルでの需要回復に加え、全社的な収益改善策の実施により
営業利益は前期を上回る

(百万円)

	20.3期 第3四半期 実績	21.3期 第3四半期 実績	増減		進捗率	
			前年 同期比	%	通期予想	%
			売上高	127,996	112,164	△ 15,831
営業利益	3,558	4,093	535	15.0%	5,300	77.2%
営業利益率	2.8%	3.6%	-	-	3.4%	-
経常利益	3,604	3,491	△ 113	△3.2%	4,900	71.3%
四半期純利益	2,070	734	△ 1,336	△64.5%	1,100	66.7%
EPS(円)	125.06円	44.30円	△ 80.76	△64.6%	66.39円	-
為替 米ドル【期中平均】	108.7円	106.1円	△ 2.6	△2.3%	105.0円	-
中国元【期中平均】	15.9円	15.4円	△ 0.5	△3.3%	15.4円	-
国産ナフサ(円/kl)【期中平均】	42,300円	28,800円	△ 13,500	△31.9%	30,000円	-

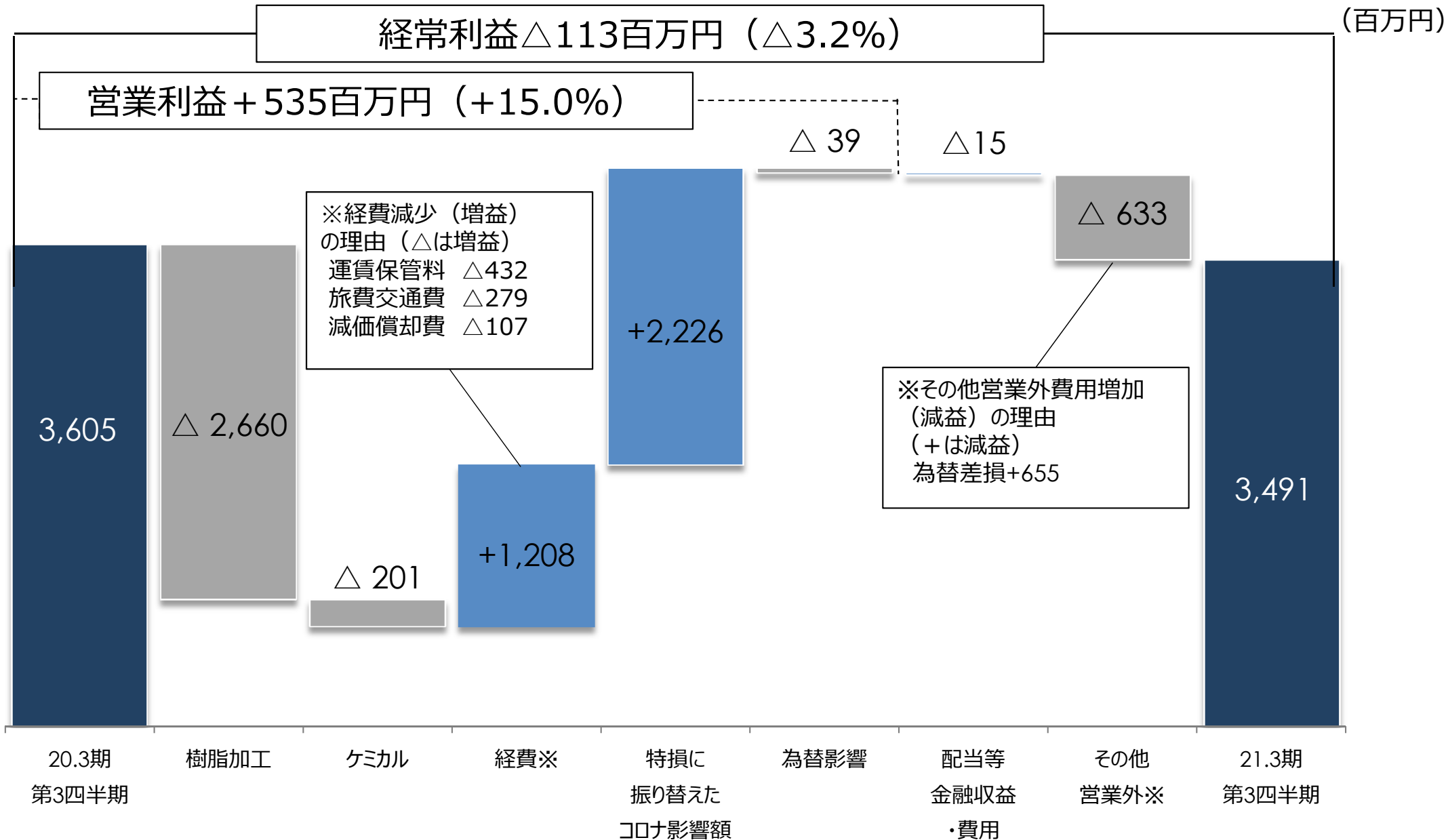
自動車生産台数は3Qまで回復基調、4Q以降は半導体の供給不足が一部影響

【主要市場の生産状況推移】



- 3Q累計：主要顧客の生産台数は順調に推移、中国では前期を上回る
- 4Q：コロナや半導体の供給不足により、日本や北米を中心に生産に影響が出ている
- 中国は12月決算のため、上記影響は来期以降

上期の工場停止期間中の固定費やコロナ感染防止に関する直接費用を特別損失に計上



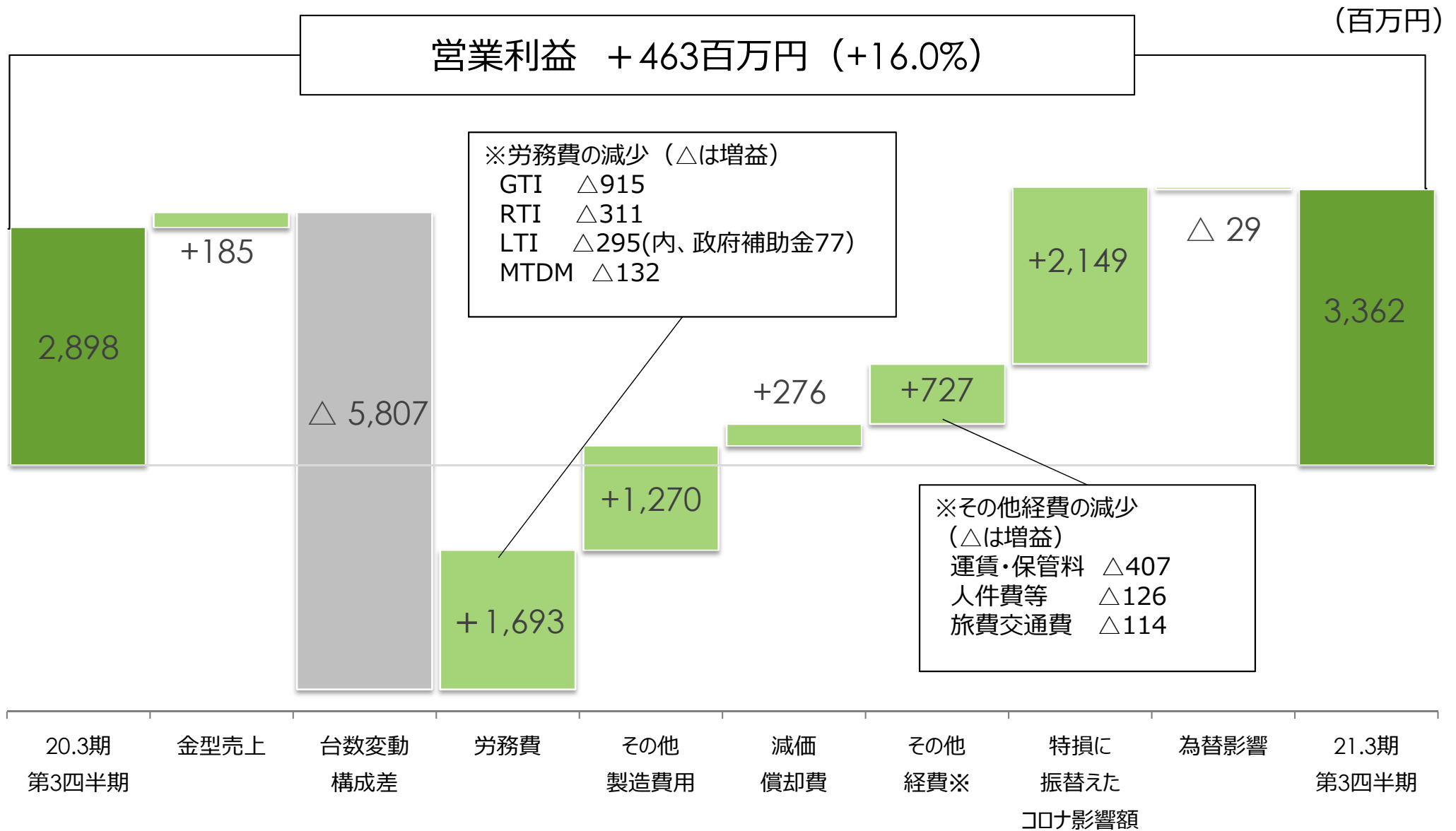
樹脂加工製品事業：コロナによる減収影響あるも、中国以外の地域も復調

ケミカル事業：上期はコロナにより影響を受けたが、下期は復調し、概ね前期並みに推移

(百万円)

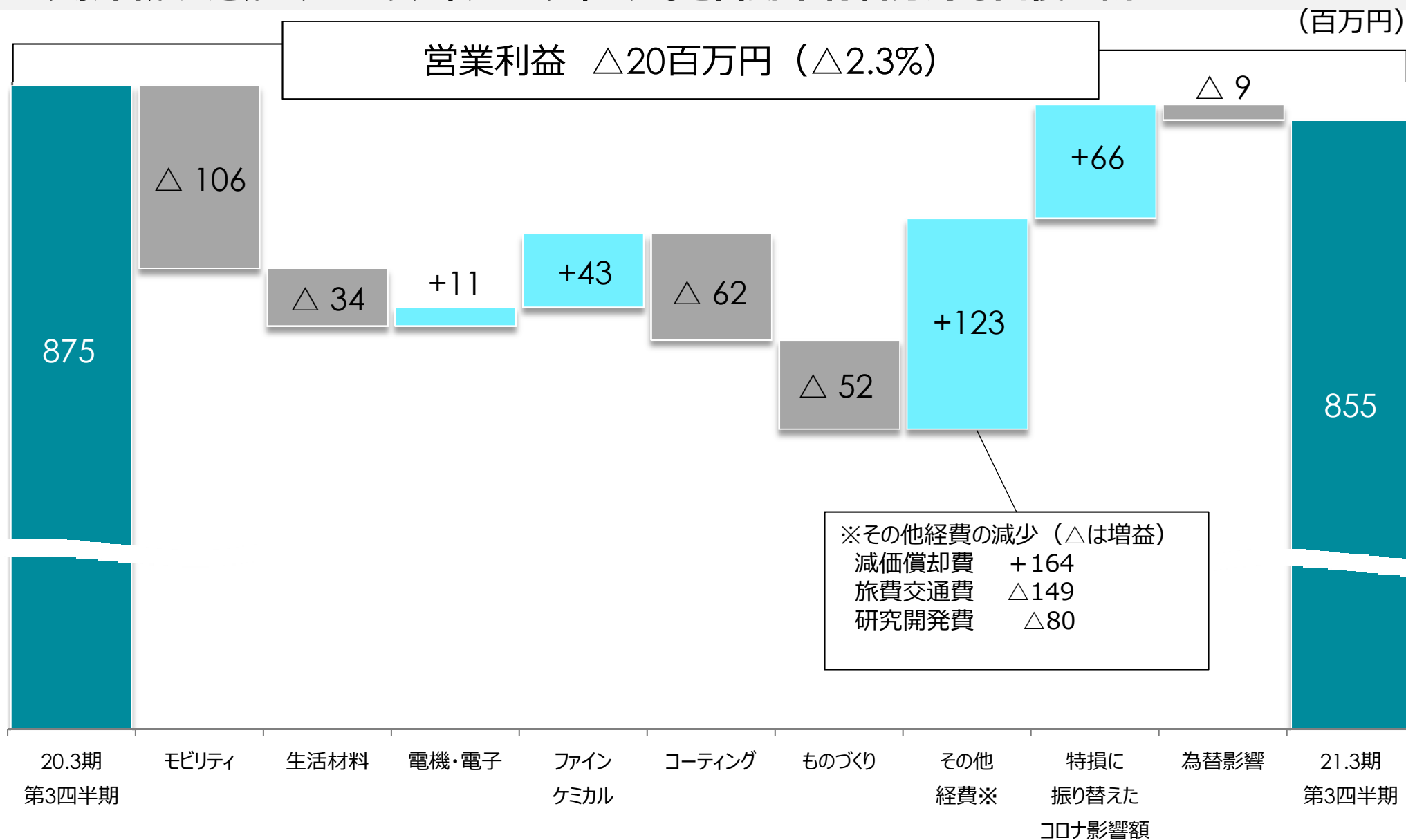
	20.3期 第3四半期 実績	21.3期		
		第3四半期 実績	増減額	増減率
売上高	127,996	112,164	△ 15,831	△12.4%
樹脂加工製品事業	79,956	67,309	△ 12,647	△15.8%
ケミカル事業	48,039	44,855	△ 3,184	△6.6%
営業利益	3,558	4,093	535	15.0%
樹脂加工製品事業	2,898	3,362	463	16.0%
ケミカル事業	875	855	△ 20	△2.3%
営業利益率(%)	2.8%	3.6%	-	-
樹脂加工製品事業	3.6%	5.0%	-	-
ケミカル事業	1.8%	1.9%	-	-

生産工程改善や経費効率化等の収益改善策で、マイナス影響をカバー



ファインケミカル、電機・電子分野が堅調

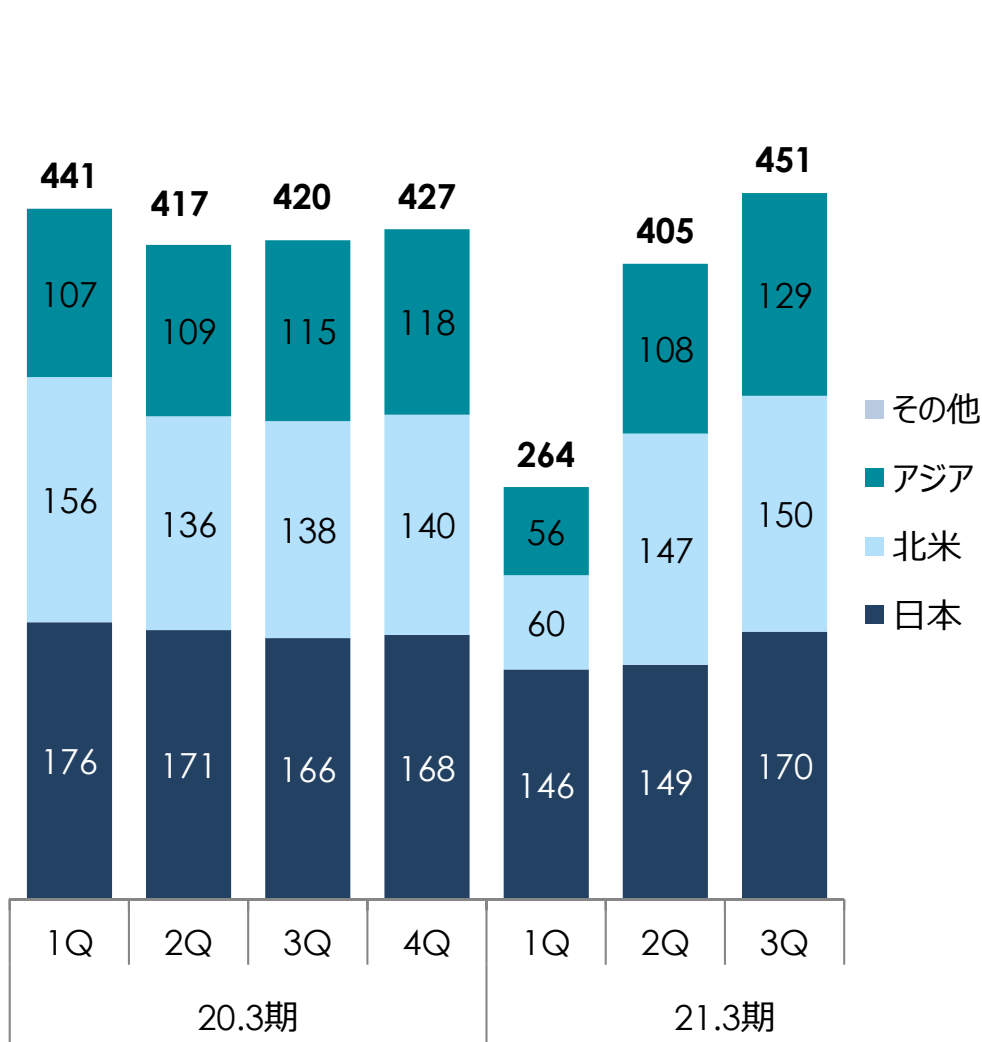
コロナ影響が大きかったモビリティ、コーティングなど自動車材料分野も回復基調



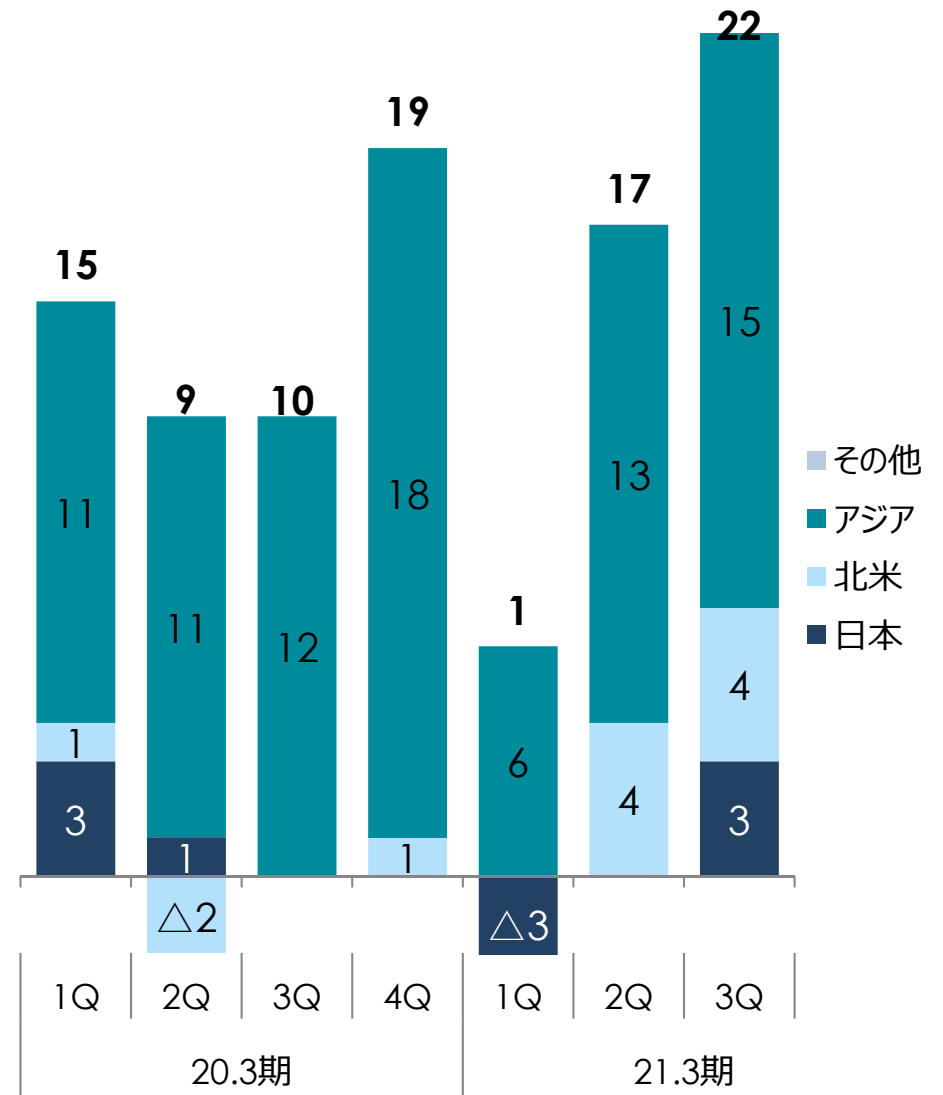
所在地別・四半期売上高、営業利益

中国・北米に加えて国内も販売が回復し、売上、利益とも前年同期を上回る

所在地別・四半期売上高（億円）



所在地別・四半期営業利益（億円）



2021年3月期 第3四半期決算 貸借対照表 (概略)

保有株式の時価の上昇により、投資有価証券および評価差額が増加

(億円)

	20.3期末 実績	21.3期 第3四半期 実績	差額		20.3期末 実績	21.3期 第3四半期 実績	差額
流動資産	586	640	53	流動負債	449	492	43
(現預金)	116	174	57	(買入債務)	220	249	29
(売上債権)	310	314	3	(短期借入金)	153	173	19
(在庫)	114	115	1	固定負債	110	120	9
固定資産	638	655	16	(長期借入金)	50	49	△0
(有形固定資産)	465	449	△16	純資産	664	682	17
(投資有価証券)	141	175	33	(資本剰余金)	47	47	0
				(利益剰余金)	543	539	△3
				(自己株式)	△2	△2	0
				(評価・換算差額)	47	67	20
資産合計	1,224	1,295	70	負債純資産合計	1,224	1,295	70
				借入金	204	222	18

森六ケミカルズ 顧客から感謝状授与

アイシングループおよびアイシン化工より、感謝状・原価賞を受賞しました。

今後も顧客満足の向上に努めてまいります。

【取り扱い商材】

- 制振塗料製品
- 制振塗料原料
- 軽量化原料
- 摩擦材原料
- 燃料電池車向け原料



▲ 取り扱う制振塗料

新型コロナウイルス感染予防グッズを寄贈

PCRドライブスルー検査時の感染予防のため、手袋付きカーテンを医療用機関を共同開発し、1,000枚を岐阜県に寄付しました。



▲ ドライブスルーカーテン



▲ 寄贈式の様子

森六テクノロジー AUDI社との取引が決定



2024年、メキシコ工場
Audi Q5のエアベント 量産開始
が決定しました。
今後も、他販ビジネスの拡大に注
力してまいります。

新型コロナウイルス対策へ寄付金を拠出

寄付の対象	金額
東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、群馬県、栃木県、三重県の9都府県	計300万円
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン	200万円
合 計	500万円

2020/12/15付の業績予想

(百万円)

	20.3期 実績	21.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	170,773	154,000	△ 16,773	△9.8%
営業利益	5,497	5,300	△ 197	△3.6%
営業利益率	3.2%	3.4%	-	-
経常利益	5,668	4,900	△ 768	△13.6%
当期純利益	3,525	1,100	△ 2,425	△68.8%
EPS(円)	212.89円	66.39円	△ 146.50	△68.8%
一株配当(円)	94.00円	50.00円	△ 44.00	△46.8%
為替 米ドル【期中平均】	108.7円	105.0円	△ 3.7	△3.4%
中国元【期中平均】	15.8円	15.4円	△ 0.4	△2.5%
国産ナフサ(円/kl)【期中平均】	42,925円	30,000円	△ 12,925	△30.1%

【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。